

### 第三次葉山町総合計画中期基本計画の修正案に対する意見及び町の考え方について

No.	項目	意見内容	町の考え方	
1	- 2 - ( 3 ) 廃棄物の処理・ 再資源化の推進	現況と課題	基本方針に生活排水処理が述べられているが、本項にはそれがいないため、生活排水処理のし尿汚泥処理について追加すべき。	生活排水は現況と課題では広く一般廃棄物としてくり、基本方針、主要施策から具体的に記載しております。
2			「ゼロ・ウェイスト」は政策ではなく、概念・理念またはスローガンとすべき。	ご意見の趣旨を踏まえ、『「ゼロ・ウェイスト」政策導入による』までを削除し、『徹底的なごみの資源化・減量化により』と修正いたします。
3			「～早急に、適正なごみ処理の実現に向け、体制を整えていく必要があります。」を「～早急に、人口比率に適したごみ処理の実現に向け、ごみ排出から最終処分まで、体制を整えていく必要があります。また、生活排水処理におけるし尿汚泥処理は、焼却炉の稼働負荷を増大させているだけでなく、その焼却費用を増大させている一つの要因になっています。」に変更すべき。	本案における「適正」とは、廃棄物処理法に基づく処理基準等に適合することは勿論のこと、高額となっているごみ処理費も含まれており、町が持続可能なごみ処理体制を整える必要性を記載させて頂いております。
4			「処理効率の低下」とあるが、何がどのように悪いのか分からないため、「町外処理施設へ委託することによる費用負担の増大」と明確に記述すべき。	「委託処理の増大による」と前述されているため、ご指摘の趣旨と同様であるものと考えます。
5			「～町として広域的処理には頼らず、「ゼロ・ウェイスト」政策導入による徹底的な資源化減量化により、持続可能な処理を目指していきます。」を「～町として単独処理を基本に、「ゼロ・ウェイスト」概念導入による資源化減量化及び処理プロセス改善により、ごみ排出量及び処理費削減を図り、持続可能なごみ処理を確立することが重要です。」に変更すべき。	「～町として単独処理を原則として、徹底的なごみの資源化・減量化により、持続可能な処理を目指していきます。」に修正いたします。

6			<p>「～持続可能な処理を目指していきます。」とあるが、何が持続可能をもたらすのかわからないため、「～進めてきましたが、メリット・デメリットを勘案した結果、広域的処理ではなく、「ゼロ・ウェイスト」政策を導入することにより徹底した資源化・減量化を図ることが、処理システムの妥当性・コスト・環境負荷等の面から最善の選択であるとの結論に至りました。」とすべき。</p>	<p>持続可能な処理とは、ご指摘のとおり町のごみ処理の大きな課題である処理費用や狭小な施設問題など町レベルの事項や、地球温暖化、資源の枯渇など地球全体の環境負荷においても言及しているものであります。</p>
7			<p>「生活排水処理は、下水道事業処理とし尿汚泥焼却処理と分かれています。生活排水処理として一括処理することが重要です。」を追加。</p>	<p>廃棄物処理法において、生活排水は一般廃棄物として位置づけられており、下水道事業は、明確に区分の必要があります。</p>
8			<p>「ごみの総排出量と～必要があります。」の項目は削除。</p>	<p>町のごみ処理の基本は徹底的な資源化・減量化による脱焼却・脱埋立ですが、その課題を明確にするためには現況の記載は必要と考えます。</p>
9			<p>「～ここ数年横ばいの状況が続いており～」とあるが、広報はやま1月号に「ごみ量は前年比10%減！資源化率は18%に」とある。「ごみの総排出量と資源化率は改善しつつあるが、今後は「ゼロ・ウェイスト」施策によって、さらなる焼却ごみと埋め立てごみの削減に取り組みます。」にすべき。</p>	<p>平成19年度実績におきましてはご指摘の成果をあげることが出来ましたが、単年の動向のみで今後の傾向を見定めることは難しいものと考えます。案記述のとおりごみ量・資源化率ともに横ばいの状況が続いていることから案のとおり記述させていただきます。</p>
10			<p>「引き続き適正な維持管理を行っていく必要があります」とあるが、焼却施設の耐用期限は過ぎており、「これまでどおり補修改修を行うが、焼却ごみ量が基準値の50%となった段階で廃棄します。」など、どういう状態になったときに切り替えるのか明示すべき。</p>	<p>焼却炉につきましては、ごみの資源化・減量化を進める中、これまでどおり補修改修を実施しながら適正に維持管理を続けていく考えであります。今後ごみの減量化が進み著しく焼却効率が落ちる可能性が予測された時点で議会等において議論する必要があるものと考えます。</p>

11			「不法投棄の発生抑止に努める必要があります。」とあるが、「必要」という表現はやるかやらないか分からないので「努めます。」でいいのでは。	本項は現況と課題について記載していることから、案のとおりいたします。
12		基本方針	現況と課題の中で、焼却炉の老朽化が深刻であると述べるのであれば、本項には減量化に伴う小型焼却炉が必要になるため検討が必要である。	町のごみ処理の基本は、徹底的な資源化・減量化によりごみの脱焼却・脱埋立を目指すものであり、現時点において、施設の記載はしていません。
13			「持続可能なごみ処理」とあるが、それは何か？「ゼロ・ウェイスト政策を推進します。」とする方がよい。	本項における持続可能なごみ処理とは、現在抱えている環境面、財政面等の問題をクリアし、町として持続可能な形態を構築するものであるとともに、ごみ処理における地球環境全体に及ぶ環境面への配慮にも言及しているものであります。又、ゼロ・ウェイスト政策に関しましては、ごみの資源化・減量化の推進施策の総称として記述してはありますが、より具体的にするため、「循環型社会形成の観点からごみの資源化・減量化を強力推進し、持続可能なごみ処理を目指します。」と修正いたします。
14			生活排水処理について、「適正」がどういうものか意味不明であるため、「生活排水処理については、公共下水道の整備地域を限定し、葉山町が実施主体となってその面的設備を図る「浄化槽市町村整備推進事業」による合併浄化槽を整備・普及していきます。浄化槽の設置から保守点検、清掃及び法定検査の受検等に係る手続きを町が行うため、維持管理に対する信頼性が向上します。」とすべき。	本項における適正処理とは、現在町が処理を実施しているし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬及び処理の円滑且つ法等に適合した安定的な処理を記述しております。 なお、浄化槽市町村整備推進事業に関する事項については、現時点において調査・研究等は進めているものの方針としては固まっていないことから記述することは出来ません。
15			「なお、し尿・浄化槽汚泥の処理については、」の次に、「なるべく安価な方法で～」を付け加えた方がよい。	事業の推進に費用面の検討は当然であり、敢えて記載はしていません。

16			<p>「汚水処理」と「生活排水処理」の違いが分からない。「汚水処理施設の適正な維持管理」とは方針として何を目標しているのか理解しがたい。</p> <p>(同様意見 1件)</p>	<p>本項における「汚水処理施設」とは町が管理運営を実施している3団地の大型合併浄化槽です。従いまして「汚水処理施設の適正な維持管理」とは3団地の大型合併浄化槽を浄化槽法に適合した維持管理を実施することです。</p>
17			<p>不法投棄をどうやって防止するのかが分からない。罰則規定を設けるなど、具体的な表現を求める。(同様意見1件)</p>	<p>基本方針は、「環型社会形成の観点からのごみの資源化・減量化を強力に推進し、持続可能なごみ処理を目指します。生活排水処理については、浄化槽の適正な維持管理を行うよう啓発活動を促進します。なお、し尿・浄化槽汚泥の処理については、下水道投入に向けて事業を推進していきます。町管理の汚水処理施設の適正な維持管理を行います。普及啓発やパトロールの実施等により不法投棄の発生防止に努めます。」に改めております。</p>
18		<p>基本方針の内容について、全て削除のうえ「ごみ処理については、「ゼロ・ウェイスト概念」を軸とする資源化減量化を推進し、人口規模に適した持続可能な、環境に配慮した循環型社会形成を目指します。生活排水処理については、下水道事業との調整を図りながら、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理・管理をするとともに、し尿・浄化槽汚泥最終処理は、下水道投入に向けて事業を推進していきます。不法投棄の発生防止について、</p> <p>を推進していきます。」に修正すべき。</p>		
19	主要施策	<p>ごみの適正処理について、目標値があるならば期限がなければならぬため、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を「ゼロ・ウェイスト」政策に基づき改定し、焼却ごみと埋立ごみを具体的なスケジュールを設け、目標値まで削減することを目指します。」と修正すべき。</p>	<p>基本計画には、基本理念について記載しており、具体的なタイムスケジュールは記載しておりません。</p>	
20			<p>「ストックヤード」とあるが、何をストックするのか分からない。リサイクルセンターのことか。</p>	<p>新たに追加する分別品目に対応するものや、現在既に実施しているものにおいても狭小なストックヤードのため効率が非常に悪いものもあることから、処理・経費効率を向上させるため総合的に検討を進める必要があるため記載させて頂いております。</p>

21			<p>「モニター制度や～」の文章を「モニター制度やモデル地区事業を積極活用し、その成果と課題を検証することにより、住民に理解と協力が得られる施策を進めていくことを目指します。また、「ゼロ・ウェイスト」政策には住民の理解と協力が不可欠であることから、導入推進とともに、継続的に啓発活動を行います。」と修正すべき。</p>	<p>ご指摘の趣旨と案は同様の趣旨と考えます。</p>
22			<p>事業系ごみに関する記述をなぜ削除したのか。</p>	<p>「事業系廃棄物への対策」と前述していることから削除したものです。</p>
23		<p>全体</p>	<p>施策の大綱から主要施策まで縦列に見て感じたこと。  (1)計画着地点が見えない。  (2)どこかで縦のつながりが切れている。  (3)“適正な処理”等の抽象的表現が多い。  (4)財政面の概念がない。  基本方針・主要施策を明確にし、財政の要素を加えたうえで実施計画を立て、実行にあたってはPDCAで廻るようにすべき。</p>	<p>ご指摘の4項目については、総合計画上の表現が曖昧で、具体性に欠けるとの指摘と考えました。これらは個々の事業に「目的」の考えはあっても、それらを現実に具現化するための「目標」や「数値」的な表現の記載がないところに起因していると考えます。今後は、個々の施策・事務事業の計画策定に「目標」と「時間の概念」を取り入れ、総合計画上の表現を明確にすることや、PDCAの手法を取り入れる必要があると考えております。</p>